
11. 省エネ型大型浄化槽システム導入 推進事業

目次 11. 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

■ タイマーでの運転時間短縮によるエネルギー消費量削減（芦屋カンツリー倶楽部）	331
■ タイマーとブロワの導入による稼働時間の最適化と水質の適正管理（アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社）	335
■ 高効率ブロワとタイマーの導入による水質の安定化（医療法人 菊野会）	339
■ 6000人規模浄化槽におけるタイマーによる稼働時間の最適化と水質の安定化（宇都宮市 上下水道局生活排水課）	343
■ インバータ導入を契機とした省エネルギーと洪水対策（株式会社若吉製作所）	347
■ ブロワ小型化とインバータを組み合わせた最適管理で住宅団地の経費削減（前田が丘団地管理組合）	351
■ 設置スペースの制約をブロワーの小型化で克服しCO ₂ 排出量を3割削減（社会福祉法人 勝山福社会）	355
■ 同風量の小型ブロワで清流の保全と省エネルギーを実現（社会福祉法人緑愛会）	359

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

タイマーでの運転時間短縮によるエネルギー消費量削減

事業概要

事業者概要

事業者名 : (一社) 芦屋カンツリー倶楽部
業 種 : 娯楽業 (ゴルフ場の運営・管理)

事業所

所在地 : 兵庫県
総延床面積 : -
人 槽 : 252人槽

補助金額

補助金額 : 約35万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : ばっ気用ブロワ (IE1モーター) 1台、調整ポンプ2台
導入設備 : ばっ気用ブロワ (IE3モーター) 1台、タイマー、調整ポンプ2台
稼働時間 > 1日約12時間

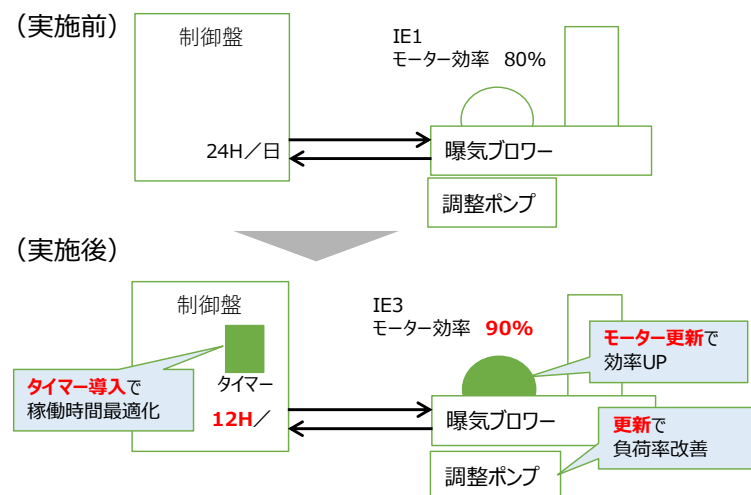
事業期間

稼働日 : 2018年1月

区分 : 改修

特長 : ブロワー、ポンプの高効率化、タイマー導入によるブロー制御 (最適稼働時間の実現)

システム図



写真



タイマー



曝気ブロワ

事業の効果

エネルギーコスト削減額：27万円/年

投資回収年数(補助あり)：約1年

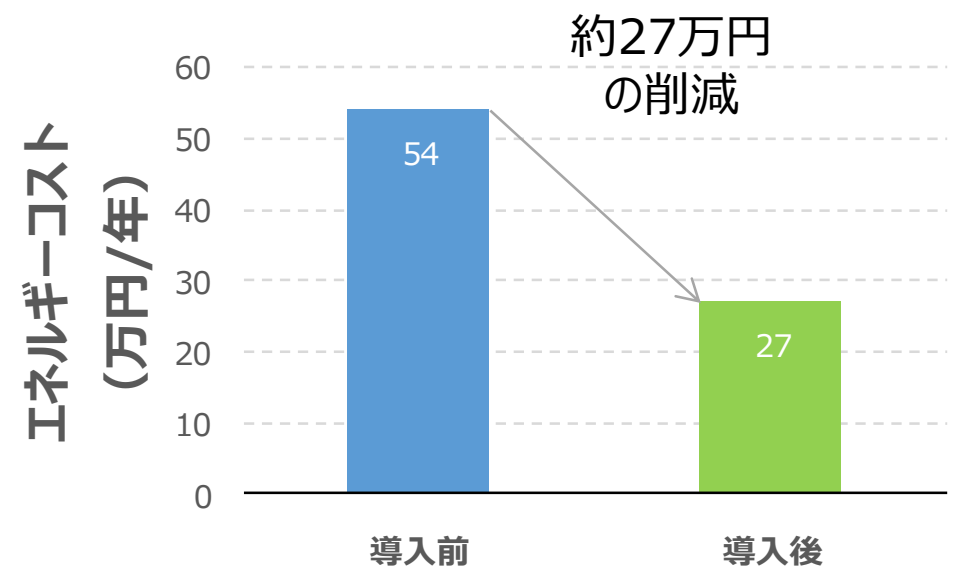
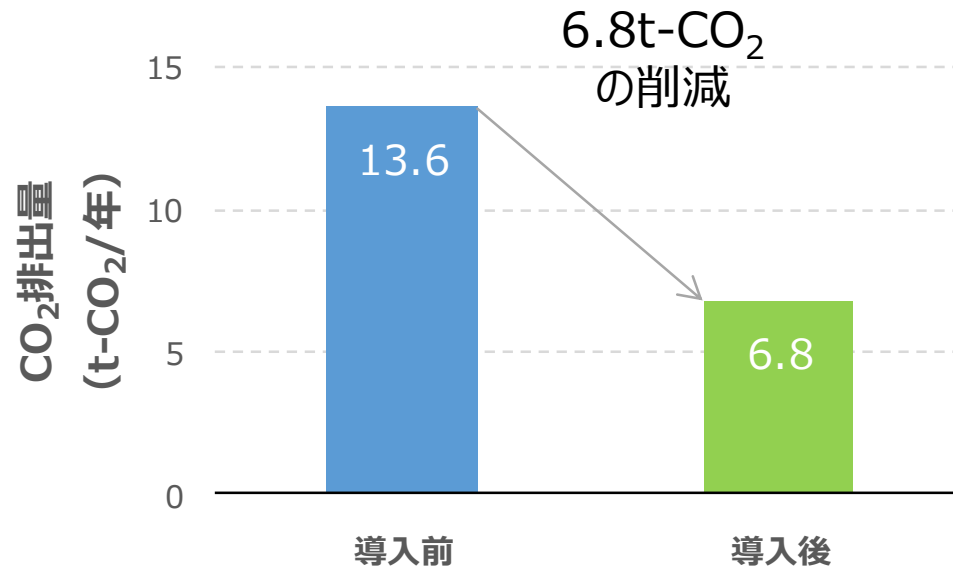
CO₂削減量：6.8t-CO₂/年

投資回収年数(補助なし)：約2年

CO₂削減コスト：3,372円/t-CO₂

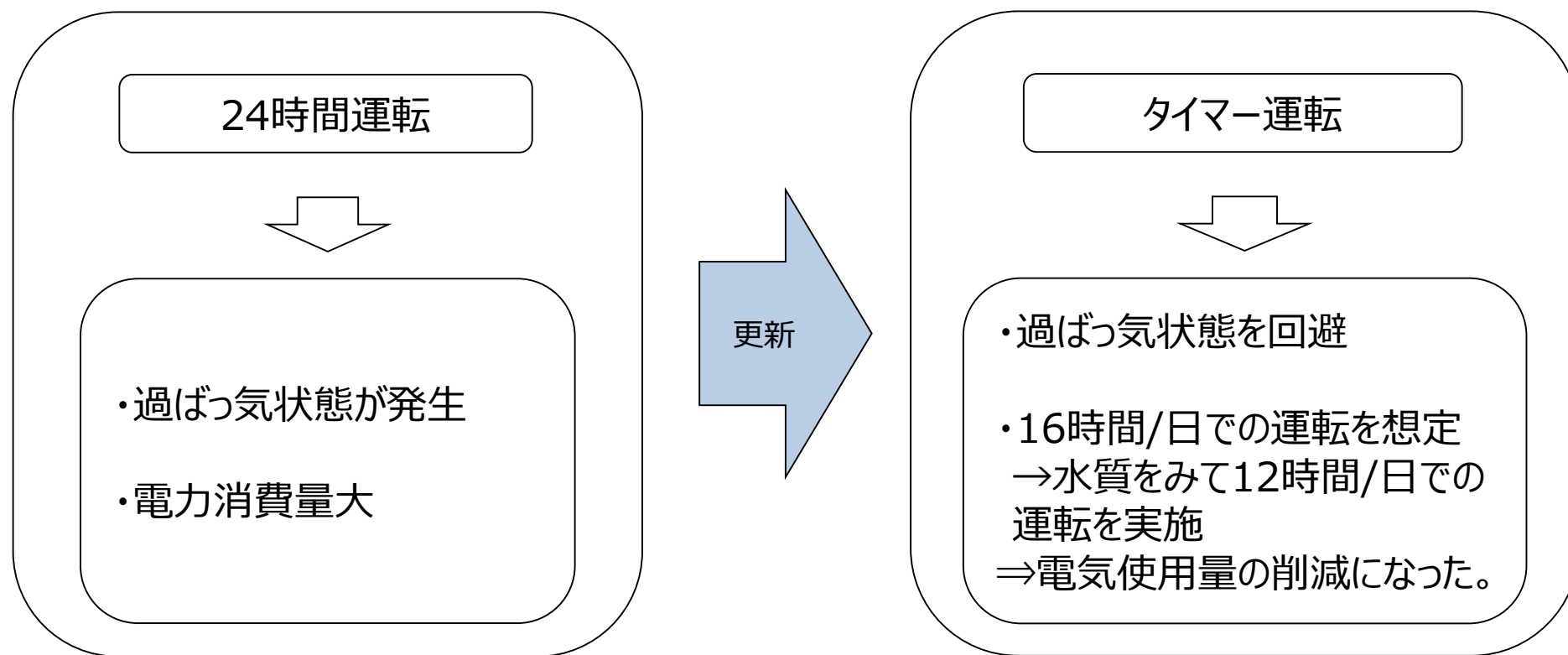
タイマーの制御がない場合のCO₂削減量は、1.3t-CO₂/年であり、タイマー導入で約5倍の効果が得られた。

補助なしで投資回収年数は約2年であり、設備の耐用年数の1/7程度であった。



事業によって実現できたこと

- ・従来は、ブロワーのオイル漏れや過ばっ気が発生していたが、タイマー設置により、ブロワーの間欠運転が可能となり、浄化槽処理の水質を確保しながら、最適な稼働時間の設定が可能になった。
- ・浄化槽法による定期水質検査の結果も改善した。



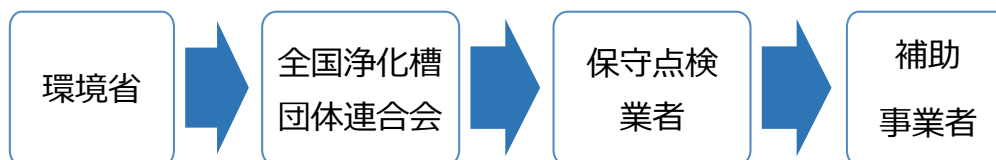
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- ・設備の老朽化やブロワーの油漏れ、過ばっ気状態などの不具合があったが、補助事業を活用した改善提案があり、導入コストとエネルギーコストも軽減されることから応募した。

補助事業を知った経緯

- ・浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



情報入手タイミング

補助事業の公募期間
(平成29年4月)

事業を行うにあたり工夫した点

- ・導入前から過ばっ気であったため、タイマーにより深夜の運転を止め16時間/日運転を行う想定だったが、管理状況を見ることで、12時間/日運転まで短縮することが出来た。
- ・水質データを確認しながら、必要に応じ稼働時間を変更するようにしている。

事業者の声

- ・本補助事業により、故障の心配がなく、管理がしやすくなり、エネルギーコストの削減が出来ました。
- ・昨年9月の台風でゴルフ場内の他の浄化槽ブロワーが水没して故障したため、H30年度の補助事業で更新できることになりました。
- ・ゴルフ場協会の会合で、メンバーで話をしています。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

タイマーとブロワの導入による稼働時間の最適化と水質の適正管理

事業概要

事業者概要

事業者名 : アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社
業 種 : 娯楽業 (ゴルフ場の運営・管理)

事業所

所在地 : 三重県
総延床面積 : 7,478.25m²
人槽 : 400人槽

補助金額

補助金額 : 約52万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 3次処理曝気用ブロワ (IE1モーター) 1台
導入設備 : タイマー付き3次処理曝気用ブロワ (IE3モーター) 1台
＜稼働時間＞ 1日約8時間

事業期間

稼働日 : 2017年9月

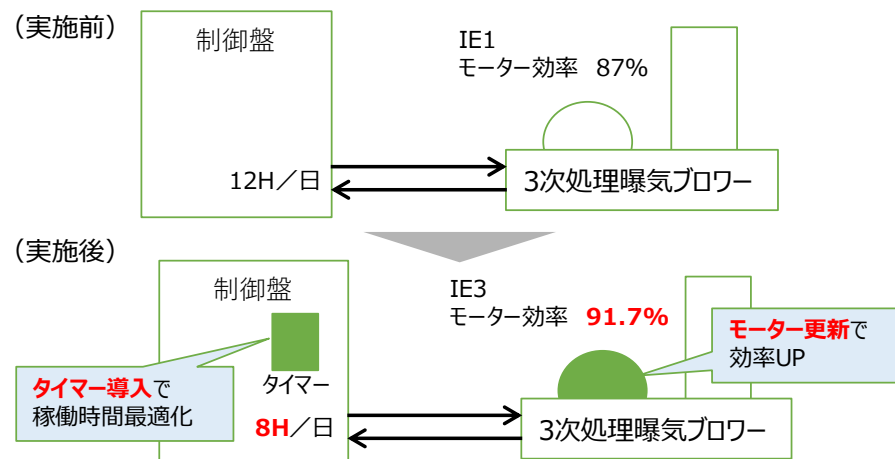
区分

: 改修

特長

: タイマー制御 (最適稼働時間の実現)

システム図



写真

1時間ごとの稼働時間設定



タイマー

効率アップしたIE3モーター



3次処理曝気ブロワー

事業の効果

エネルギーコスト削減額：17万円/年

投資回収年数(補助あり)：約3年

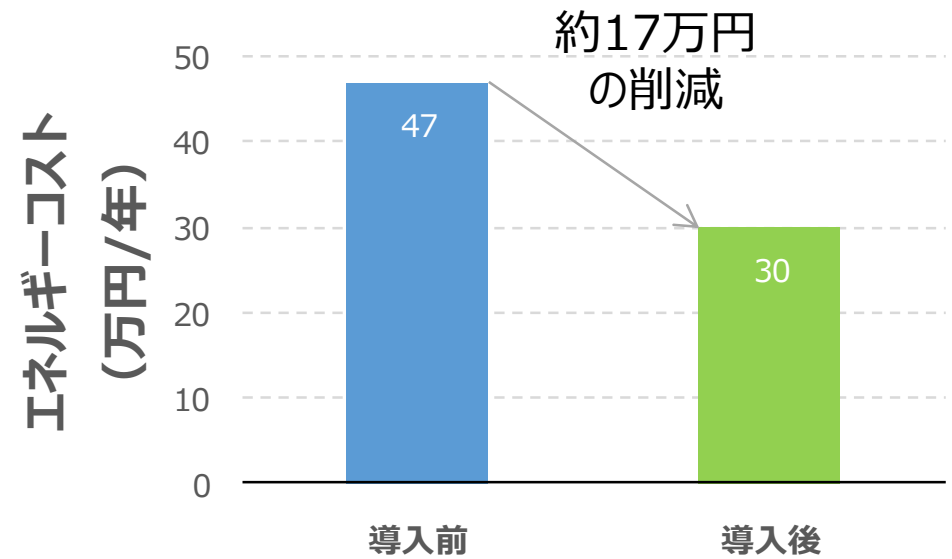
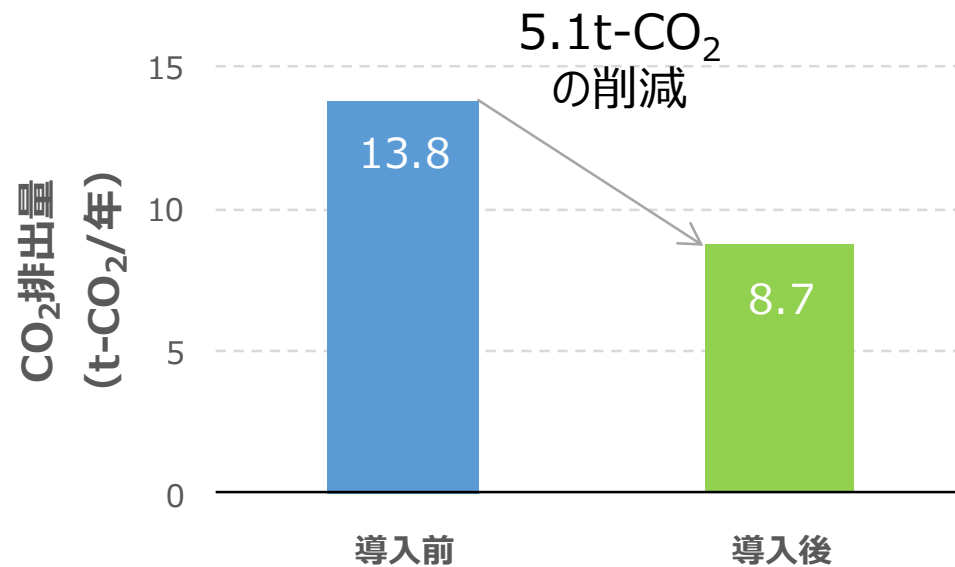
CO₂削減量：5.1t-CO₂/年

投資回収年数(補助なし)：約5年

CO₂削減コスト：6,813円/t-CO₂

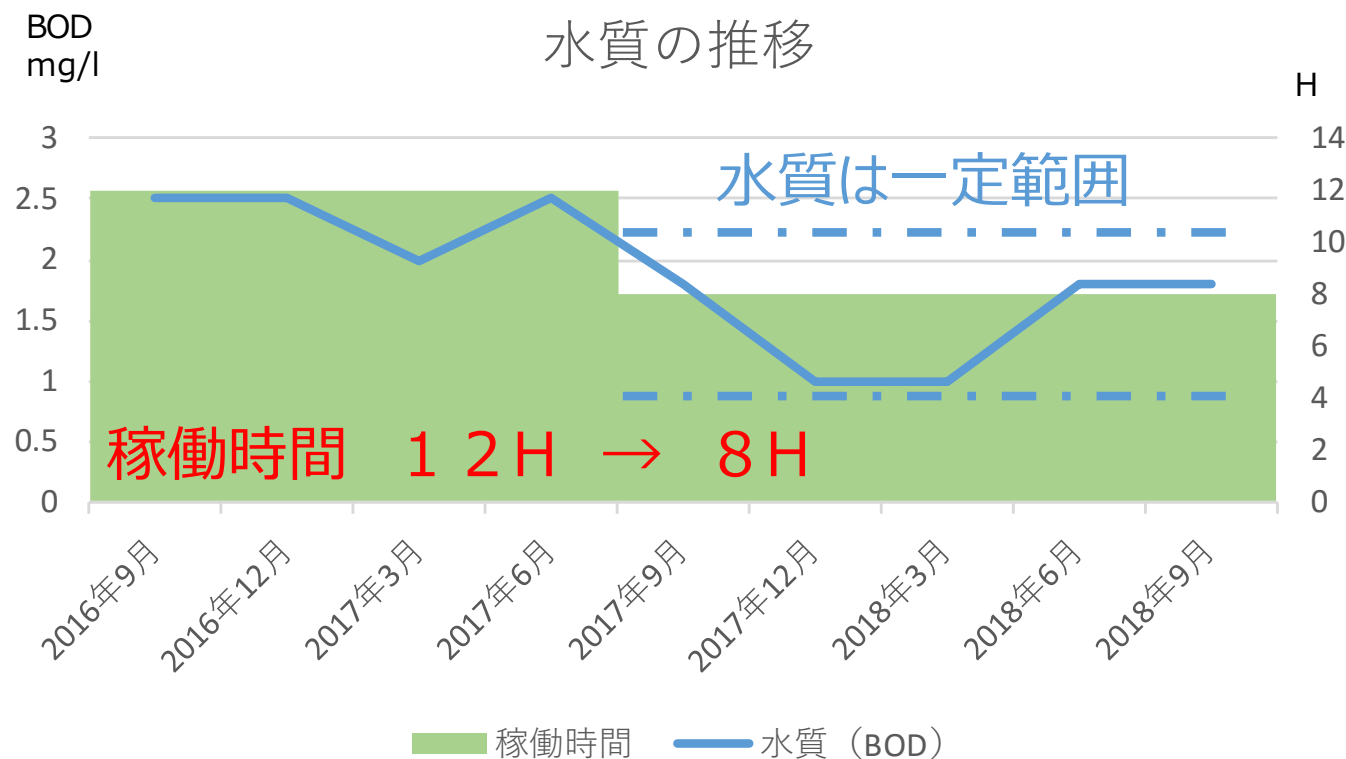
タイマー制御がない場合のCO₂削減量は、0.7t-CO₂/年で、タイマー導入で約7倍の効果を得た。

補助なしで投資回収年数は約5年であり、設備の耐用年数の1/3程度である。



事業によって実現できたこと

- ・タイマーの設置により、浄化槽処理の水質を確保しながら、従来はできなかった導入設備の最適な稼働時間の設定が可能になった。
- ・これにより、より精度よく一定の水質が確保でき、不具合のリスクが解消されたことで、管理負荷の低減につながった。



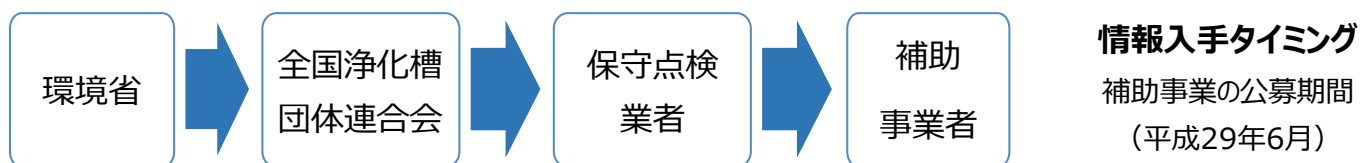
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- ・老朽化もあり、ブロー能力の低下などの不具合解消を目的に更新の計画を立てていたところ、補助事業の話があり、導入コストとエネルギーコストが軽減されることから応募した。

補助事業を知った経緯

- ・浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



事業を行うにあたり工夫した点

- ・過去の水質データと年間の使用状況を基に当初の最適稼働時間を設定し、毎週の定期点検で水質データを確認しながら、必要があれば稼働時間を変更するようにした。

事業者の声

- ・本事業をきっかけに、異音の発生や故障の心配がなくなり、水質も安定しました。
- ・補助金の活用により、他グループゴルフ場でも各種改修工事に対して省エネの意識が向上し、今後も活用に向けた計画的な改修予定を組む流れになりました。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

高効率ブロワとタイマーの導入による水質の安定化

事業概要

事業者概要

事業者名 : 医療法人菊野会
業 種 : 医療, 福祉

事業所

所在地 : 鹿児島県
総延床面積 : -
人槽 : 101~200人槽

補助金額

補助金額 : 約79万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 曝気ブロワ (IE1モーター) 2台、ポンプ2台
導入設備 : 曝気ブロワ (IE3モーター) 2台、ポンプ2台
＜稼働時間＞ 1日約20時間

事業期間

稼働日 : 2018年2月

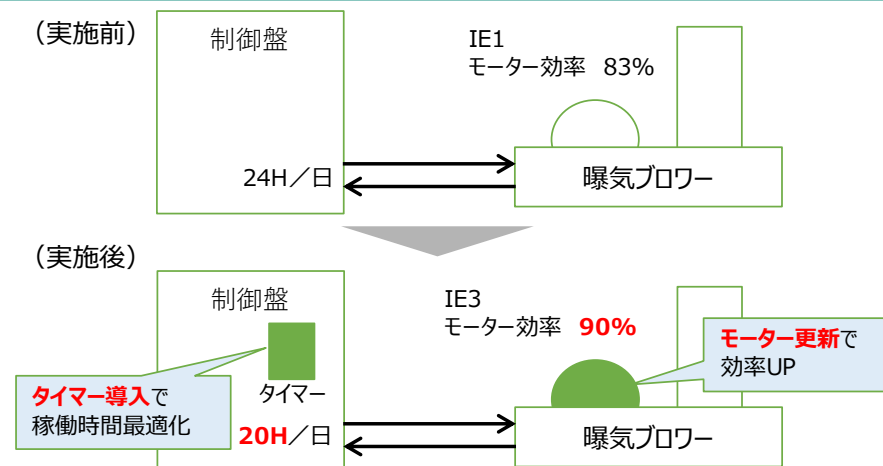
区分

: 改修

特長

: タイマー制御 (最適稼働時間の実現)

システム図



写真

1時間ごとの稼働時間設定



タイマー

効率アップしたIE3モーター



曝気ブロワ

事業の効果

エネルギーコスト削減額：10.8万円/年

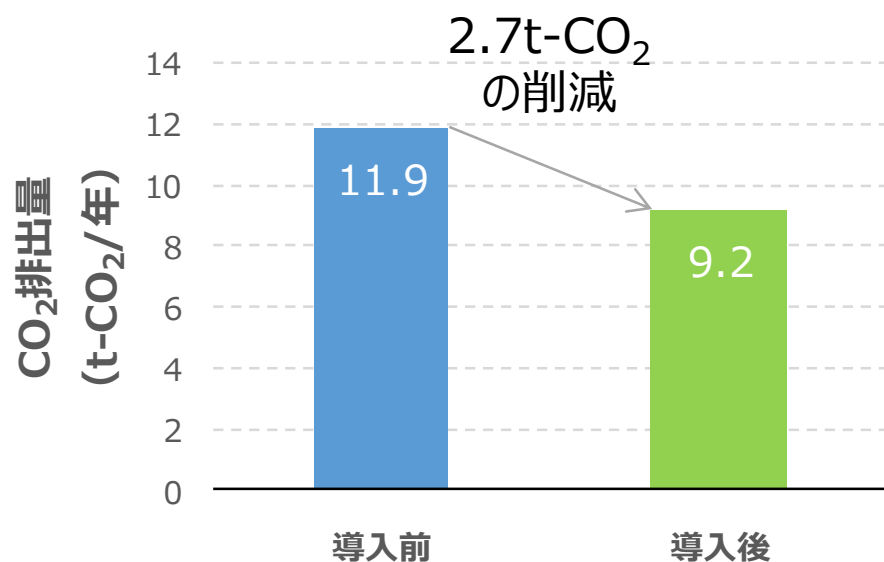
投資回収年数(補助あり)：約7年

CO₂削減量：2.7t-CO₂/年

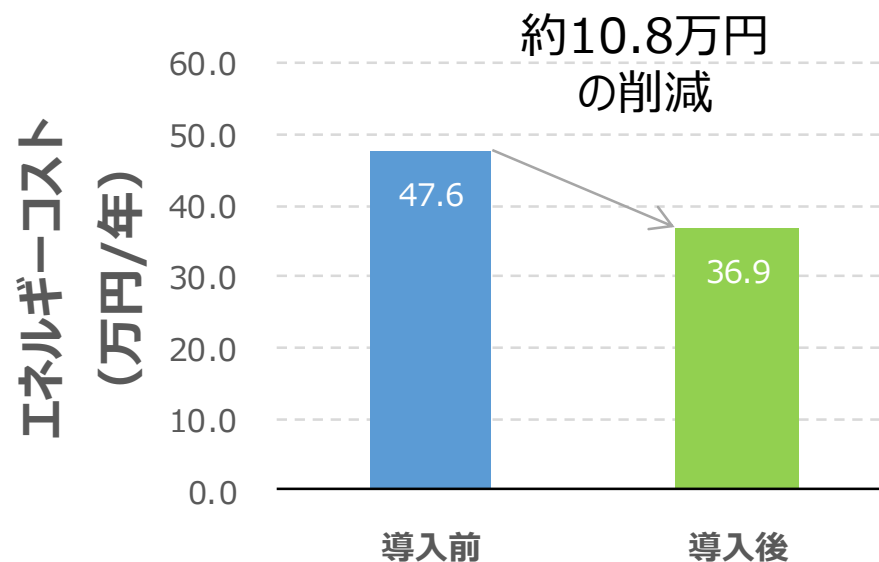
投資回収年数(補助なし)：約14年

CO₂削減コスト：19,400円/t-CO₂

タイマー制御がない場合のCO₂削減量は、0.9t-CO₂/年で、タイマー導入で約3倍の効果を得た。

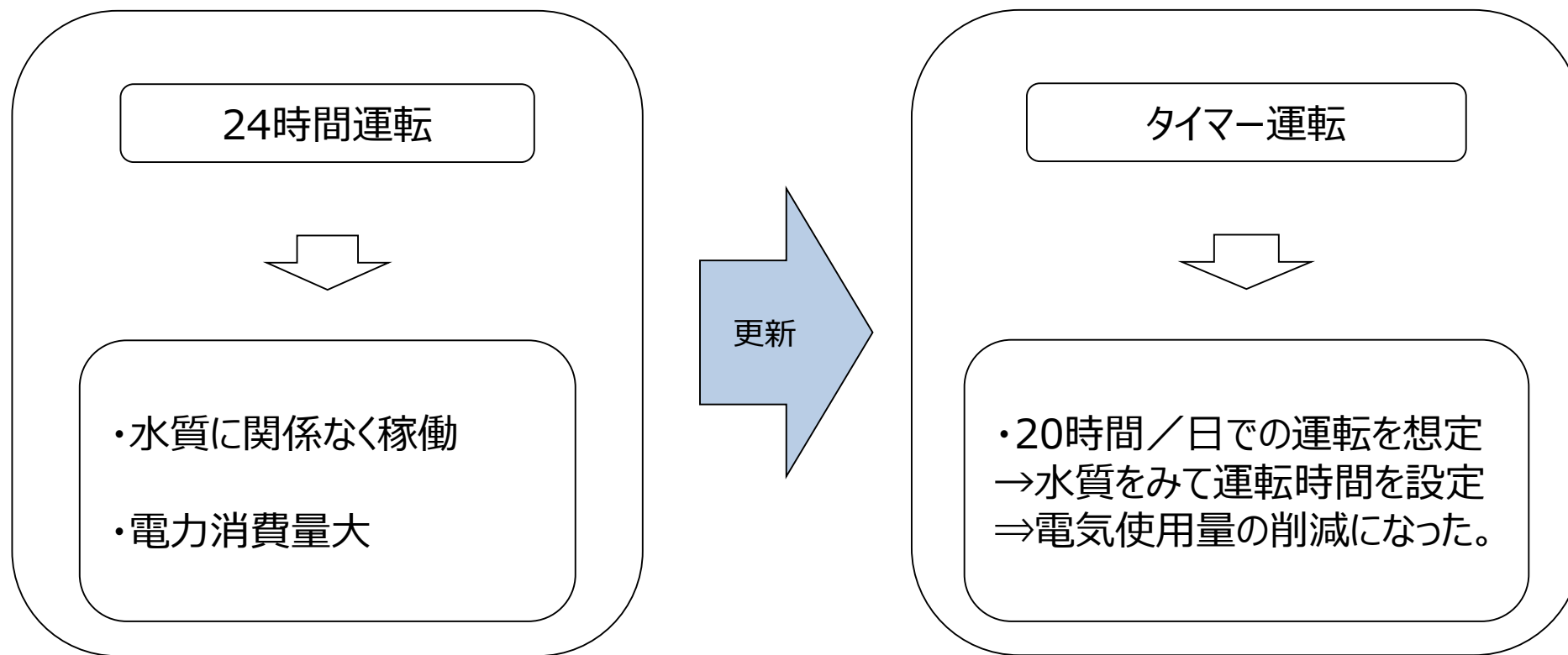


補助なしで投資回収年数は約14年で、設備の耐用年数と同程度であった。



事業によって実現できたこと

- ・タイマーの設置により、従来の24時間ばっ気から20時間の間欠ばっ気にすることで、浄化槽処理の水質を確保しながら、従来はできなかった導入設備の最適な稼働時間の設定が可能になった。



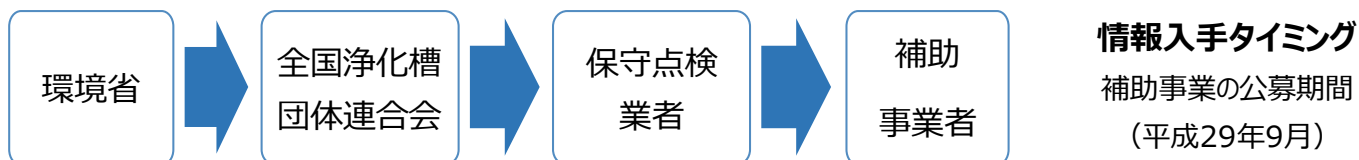
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- ・老朽化があり、ブロー能力の低下など不具合解消を目的に更新の計画を立てていたところ、交換のタイミングと補助金の案内が一致し、計画は半年から1年前倒しになった。

補助事業を知った経緯

- ・浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



事業を行うにあたり工夫した点

- ・過去の水質データと年間の使用状況を基に当初の最適稼働時間を設定し、定期点検で水質データを確認しながら、必要があれば稼働時間を変更するようにした。

事業者の声

- ・本補助事業をきっかけに、異音の発生や故障の心配がなくなり、水質が安定しました。
- ・配管を同時に交換することで、より効率のよい設備への更新ができますと思います。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

6000人規模浄化槽におけるタイマーによる稼働時間の最適化と水質の安定化

事業概要

事業者概要

事業者名 : 宇都宮市 上下水道局生活排水課
業 種 : 地方自治体

事業所

所在地 : 栃木県
総延床面積 : -
人槽 : 6000人槽

補助金額

補助金額 : 約163万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 曝気用ブロワ (IE1モーター) 1台
導入設備 : 曝気用ブロワ (IE3モーター) 1台
＜稼働時間＞ 17:00～8:30 (夜間専用)

事業期間

稼働日 : 2018年2月

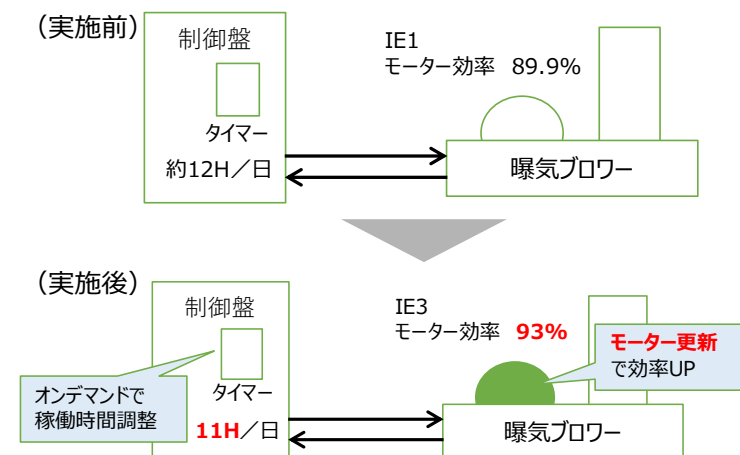
区分

: 改修

特長

: タイマー制御 (最適稼働時間の実現)

システム図



写真



曝気ブロワー



タイマー設定画面



6000人槽浄化槽外観

事業の効果

エネルギーコスト削減額：20万円/年

投資回収年数(補助あり)：約8年

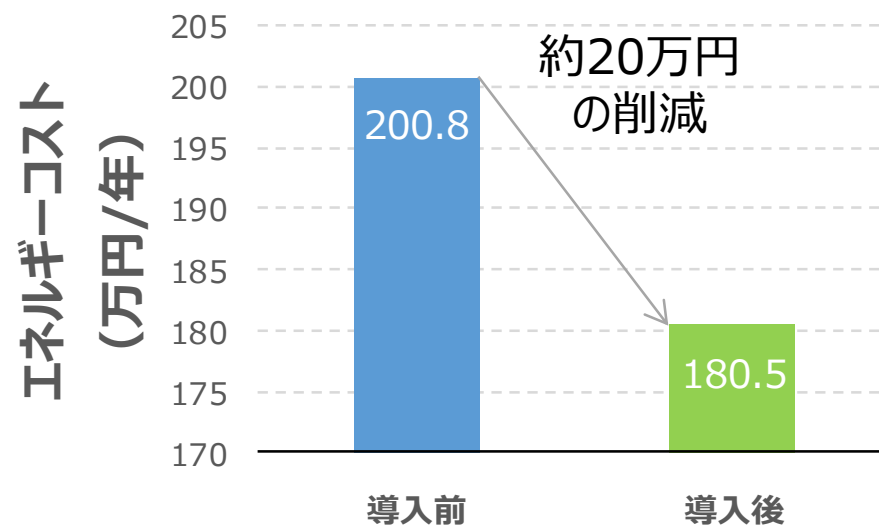
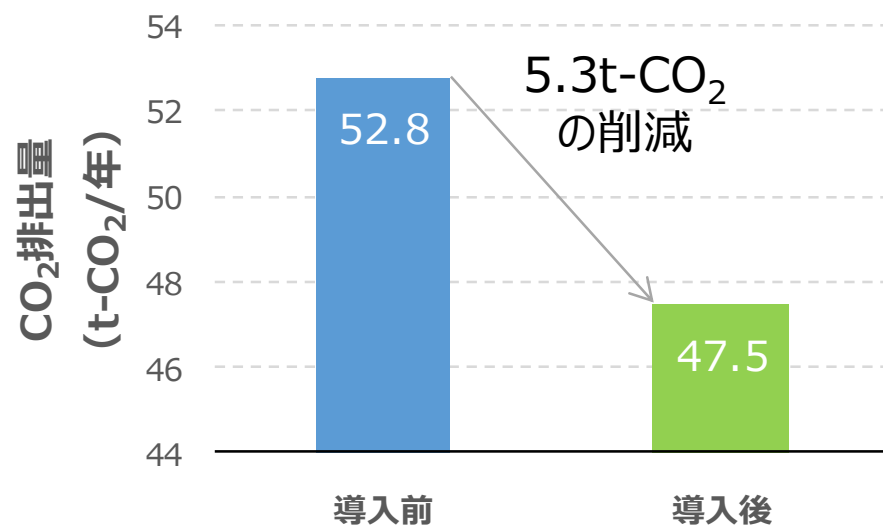
CO₂削減量：5.3t-CO₂/年

投資回収年数(補助なし)：約16年

CO₂削減コスト：20,400円/t-CO₂

タイマーによる時間短縮を行わない場合のCO₂削減量は、1.8t-CO₂/年で、タイマー制御で約3倍の効果が得られた。

補助ありの場合、投資回収年数は約8年となり、設備の耐用年数の1/2程度である。



事業によって実現できたこと

- 導入前の設備は、実使用年数で18年が経過し、今回の更新で、点検・整備業務の軽減とエネルギーコストの軽減を図ることができた。
- 分単位でのタイマー制御により、浄化槽処理の水質を確保しながら、導入設備の最適な稼働時間の設定を行った。

(タイマーによる制御時間の推移)

【導入前】

17 : 00～23 : 00 No.1曝気ブローア運転 (6時間)
23 : 00～00 : 30 No.1曝気ブローア停止
00 : 30～03 : 00 No.1曝気ブローア運転 (2時間30分)
03 : 00～04 : 30 No.1曝気ブローア停止
04 : 30～06 : 00 No.1曝気ブローア運転 (1時間30分)
06 : 00～06 : 40 No.1曝気ブローア停止
06 : 40～08 : 30 No.1曝気ブローア運転 (1時間50分)
計11時間50分運転
08 : 30～17 : 00 No.2とNo.3の曝気ブローアの
どちらかが運転

【導入後】

17 : 00～23 : 00 No.1曝気ブローア運転 (6時間)
23 : 00～00 : 30 No.1曝気ブローア停止
00 : 30～02 : 30 No.1曝気ブローア運転 (2時間)
02 : 30～04 : 30 No.1曝気ブローア停止
04 : 30～06 : 00 No.1曝気ブローア運転 (1時間30分)
06 : 00～07 : 00 No.1曝気ブローア停止
07 : 00～08 : 30 No.1曝気ブローア運転 (1時間30分)
計11時間運転
08 : 30～17 : 00 No.2とNo.3の曝気ブローアの
どちらかが運転

注 : No.1ブローアが補助対象

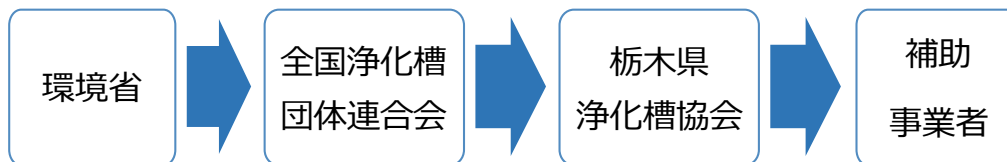
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- 今回は、曝気ブロワーの不具合解消を目的に更新の計画を立てていたところ、補助事業の話があり、導入コストとエネルギーコストも軽減されることから応募した。

補助事業を知った経緯

- （一社）栃木県浄化槽協会からメールによる案内、及び説明会に参加し、必要な情報を収集し本補助事業に応募した。



情報入手タイミング

補助事業の公募期間
(平成29年7月)

事業を行うにあたり工夫した点

- 交付申請を行う際、エネルギー使用量を算定するために必要なモーター効率等の数値は全浄連から提供された資料に該当が無く、直接メーカーへの問い合わせを行った。
- 大型曝気ブロワーの設備更新によるモーター効率の改善のみでは、公募要領に規定されている5%のエネルギー使用量の削減は、実績ベースでは厳しく、時間や出力の調整が必要となる。そこで、夜間の間欠運転に着目し、タイマーで50分の稼働時間を短縮することで、これを担保した。

事業者の声

- 本事業を活用することで、更新に要する費用を1 / 2に抑えることができました。
- 高効率な設備に更新できたことで、故障のリスクが減少し、安定した処理環境が整っただけでなく、維持管理コストの多くを占めるエネルギー経費についても、運転時間を調整することで、機器性能以上に削減することができました。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

インバータ導入を契機とした省エネルギーと洪水対策

事業概要

事業者概要

事業者名 : 株式会社若吉製作所
業 種 : 生活関連サービス業, 娯楽業

事業所

所在地 : 福井県
総延床面積 : -
人槽 : 201~300人槽

補助金額

補助金額 : 約140万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 曝気ブロワ (IE1モーター) 2台
導入設備 : 曝気ブロワ (IE3モーター) 2台

事業期間

稼働日 : 2018年2月

区分

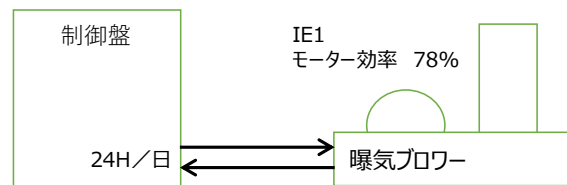
: 改修

特長

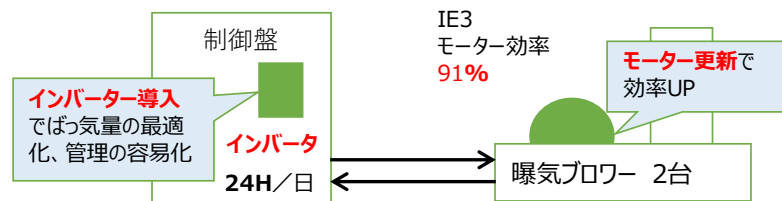
: インバータ制御

システム図

(実施前)



(実施後)



写真

インバータで
回転数制御



インバータ

効率アップした
IE3モーター



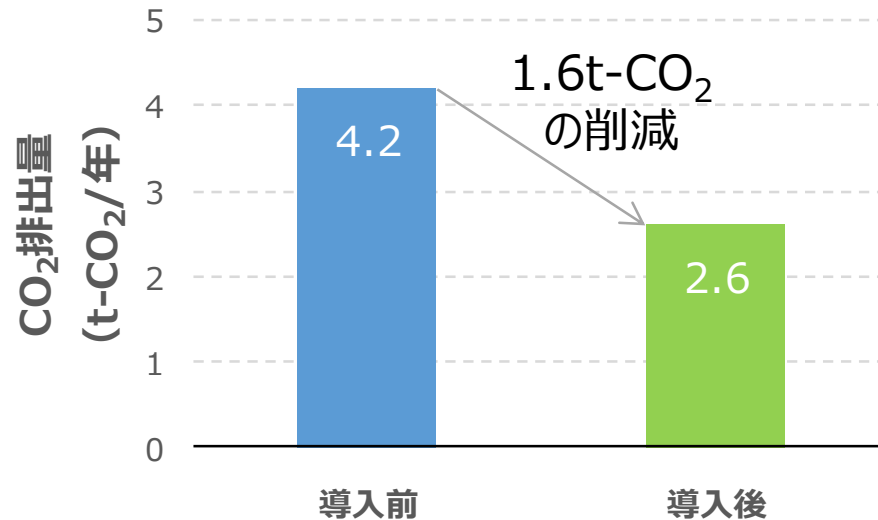
曝気ブロワ

事業の効果

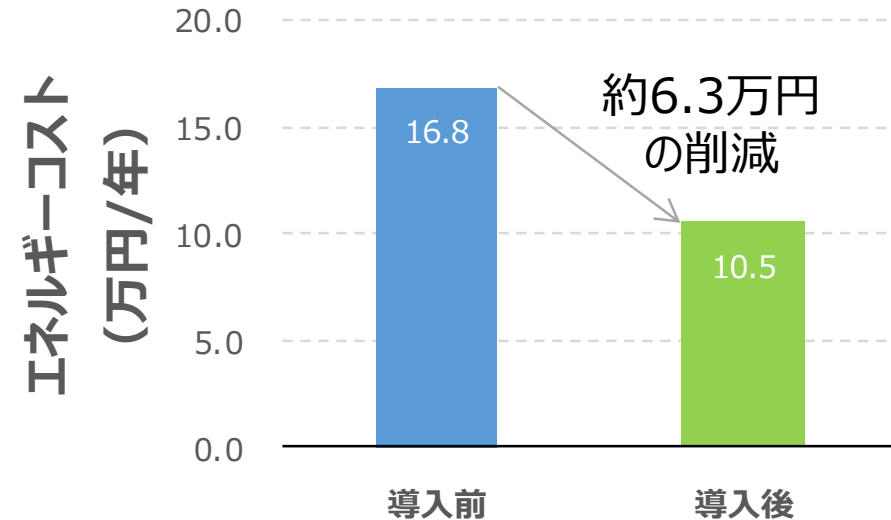
エネルギーコスト削減額 : 6.3万円/年
投資回収年数(補助あり) : 約22年
CO₂削減量 : 1.6t-CO₂/年

投資回収年数(補助なし) : 約44年
CO₂削減コスト : 59,200円/t-CO₂

インバータ制御がない場合のCO₂削減量は、0.6t-CO₂/年で、インバータ導入で約2.7倍の効果が得られた。



エネルギーコストは更新前の約6割になった。



事業によって実現できたこと

- 敷地が河川の中州にあり平成28年の台風による洪水の被害を受け、機器が故障した。
- 本事業でインバータを導入したことで、省CO₂ができたことに加え、回転数の調整等の柔軟な設定できるようになった。
- 今回の更新により機器の設置場所のかさ上げをし、洪水対策を講じることができた。



インバータ導入

- 大幅な省エネを実現（約30%）
- 浄化槽の使用実態に応じた回転数の調整等の柔軟な設定が可能になった。



ブロワ（左）と制御盤（右）の設置場所をかさ上げすることができた。

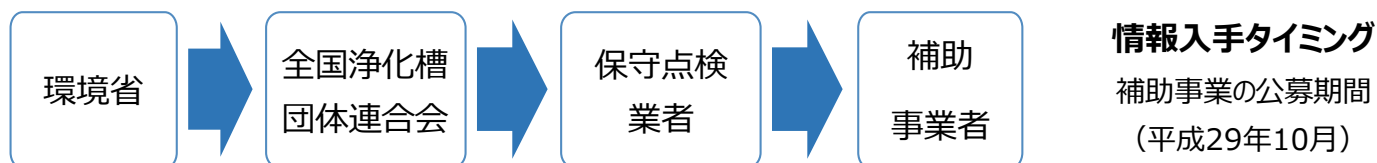
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- 平成28年の台風の被害で浄化槽が故障した。保守点検業者から補助事業の話があり、導入コストとエネルギーコストも軽減されることから計画を前倒しし、更新を実施した。

補助事業を知った経緯

- 浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



事業を行うにあたり工夫した点

- インバータによって浄化槽の水質と使用実態に応じ回転数の調整を設定するようにした。
- 今回の更新を機にブロワと制御盤の設置場所をかさ上げができ、洪水対策も講じることができた。

事業者の声

- インバーターを導入したことで調整が簡単になりました。柔軟な設定ができるようになっております。
- 今回の導入に合わせてかさ上げたため洪水の心配はなくなりました。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

ブロワ小型化とインバータを組み合わせた最適管理で住宅団地の経費削減

事業概要

事業者概要

事業者名 : 前田が丘団地管理組合
業 種 : 住宅団地

事業所

所在地 : 福岡県
総延床面積 : -
総世帯数 : 476世帯
人 槽 : 3000人槽

補助金額

補助金額 : 約348万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 曝気用ブロワ (IE1モーター) 2台
導入設備 : 原水、調整ポンプ 各2台、消泡ポンプ1台
曝気用ブロワ (IE3モーター) 2台
ブロワー用インバータ2台

事業期間

稼働日 : 2018年1月

区分

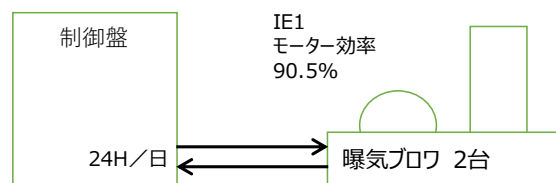
: 改修

特長

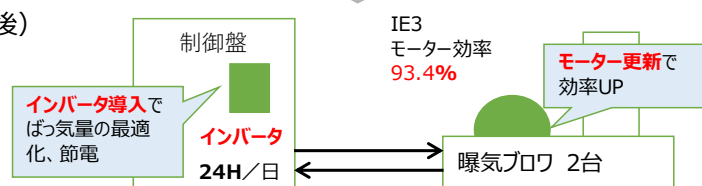
: ブロワの小型・高効率化とインバータ制御導入
(最適風量の実現)

システム図

(実施前)



(実施後)



写真

インバータによる
ばっ気量の最適化



インバータ

使用人数減に応じたモーターの
小型化と効率をアップしたIE3モーター付ブロワ



曝気ブロワ

事業の効果

エネルギーコスト削減額：79万円/年

投資回収年数(補助あり)：約4年

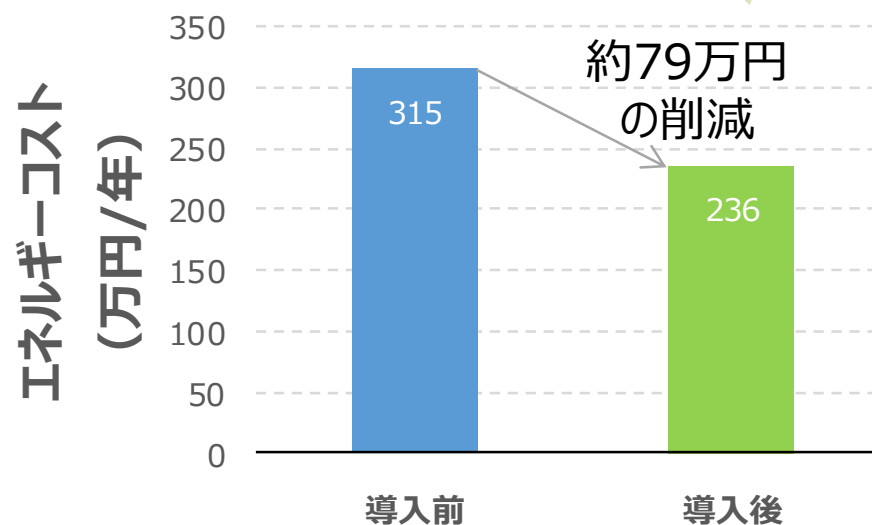
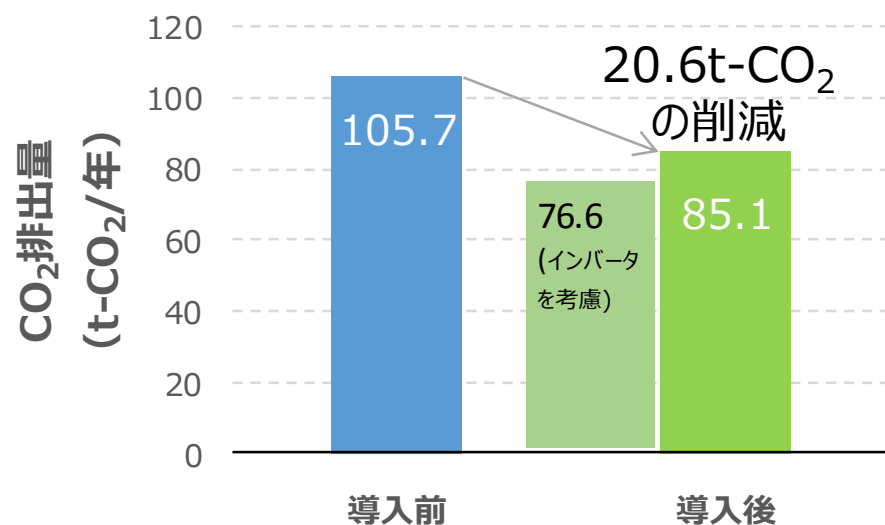
CO₂削減量：20.6t-CO₂/年

投資回収年数(補助なし)：約9年

CO₂削減コスト：約11,300円/t-CO₂

ブローの小型化・高効率化のみによりCO₂削減量実績算定値は、20.6t-CO₂/年であるが、インバータの寄与を考慮した場合は、29.1t-CO₂と約17%改善の効果が算定された。

補助なしで投資回収年数は約9年であり、設備の耐用年数の2/3程度である。



事業によって実現できたこと

- 老朽化したブロワーを小型・高効率化ブロワーへ交換し、インバータを導入した。
- 住民数の減少、季節により変化する汚水量、活性汚泥の状態を考慮したブロワー風量等の最適な条件設定が可能になったため、処理水質を確保しつつ、浄化槽の維持管理が行えるようにした。
- 導入ブロワーは、従来より低騒音型であり、地域住民から、静かになったとの評価をいただいた。
- 団地の管理組合の総会で、今回の事業について報告、説明を通じ、先行投資でコスト削減になることその他、浄化槽管理や水質管理の重要性について、そしてCO₂削減の環境における貢献を普及、啓発し、住民に対してご理解を得ることができました。



曝気槽



配電盤とインバータボックス

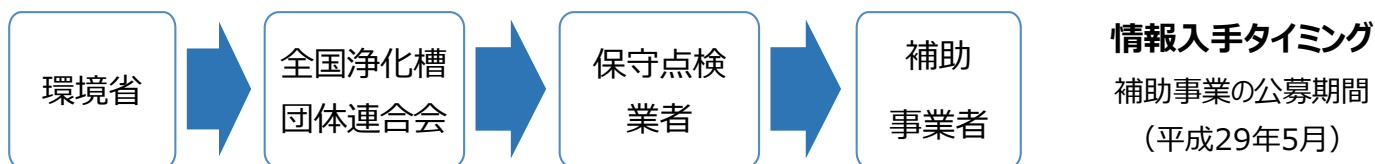
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- ブロワーは設置から41年が経過し、10年ごとにオーバーホールをしていたが老朽化していた。
- 5年程前から保守点検業者のアドバイスがあり更新を計画したが、予算の都合で保留になった。
- 保守点検業者から補助事業の話があり、導入コストとエネルギーコストが軽減されることから計画を前倒させた。

補助事業を知った経緯

- 浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



事業を行うにあたり工夫した点

- 保守点検業者が環境省・浄化槽協会などから情報収集を行い、情報提供があった。
- その結果を用いて管理組合員にアピールすることで、補助事業を行い、ブロワの小型化、更新、及びインバータを導入することで、電力使用量の削減、浄化槽管理の省力化を達成することができた。

事業者の声

- 私たちは、浄化槽汚水処理施設を将来にわたり維持していく事が命題です。本事業をきっかけに老朽化機器を更新できた事は、省エネ・高効率化によって電気料金が大きく減り経費の節減につながると共に、施設継続維持の一助となりました。
- 導入したインバータによって季節変化等に応じてばっ気量を調整することが手動でできることから、運転、水質管理も楽になりました。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

設置スペースの制約をブローの小型化で克服しCO₂排出量を3割削減

事業概要

事業者概要

事業者名 : 社会福祉法人勝山福祉会
業 種 : 医療, 福祉

事業所

所在地 : 福井県
総延床面積 : 4,991m²
人槽 : 201~300人槽

補助金額

補助金額 : 約58万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 曝気ブロワ (IE1モーター) 2台、付帯設備
導入設備 : 曝気ブロワ (IE3モーター) 2台

事業期間

稼働日 : 2018年1月

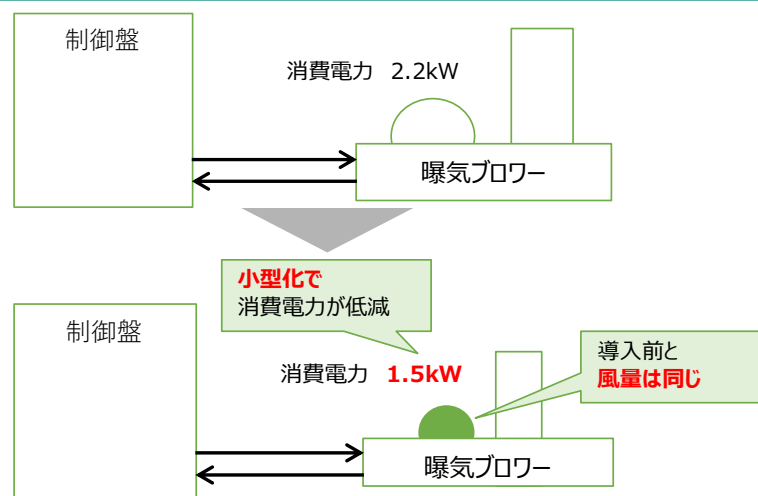
区分

: 改修

特長

: 更新前設備と同風量ではあるが小型の設備を導入した。
設置場所が小さかったが、小型化することで設置できた。

システム図



写真



曝気ブロワ

事業の効果

エネルギーコスト削減額：23万円/年

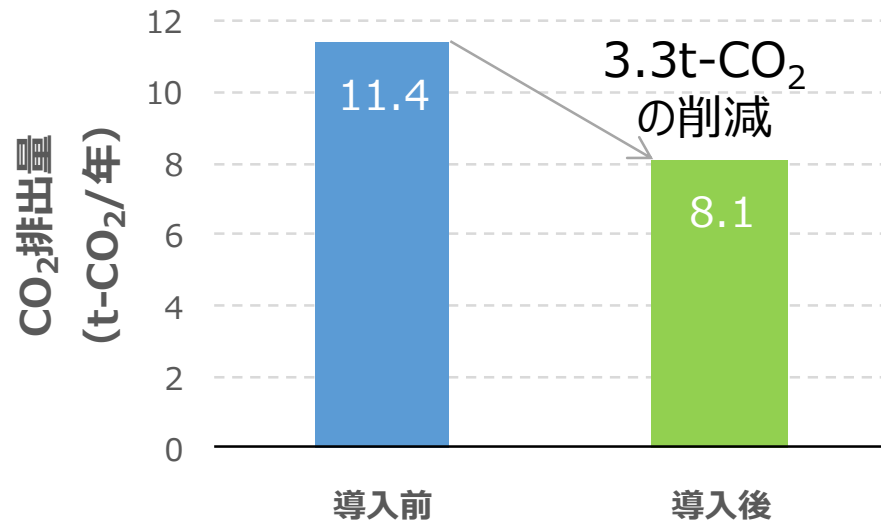
投資回収年数(補助あり)：約3年

CO₂削減量：3.3t-CO₂/年

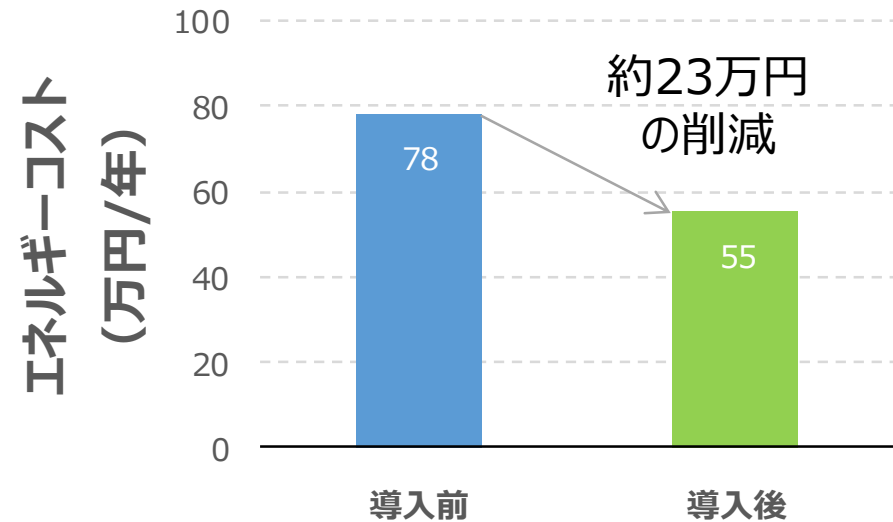
投資回収年数(補助なし)：約5年

CO₂削減コスト：11,700円/t-CO₂

更新前のブロワと同じ容量のブロワであればCO₂削減率は約5%の予定だったが、約29%を実現できた。



補助なしで投資回収年数は約5年であり、設備の耐用年数の1/3程度であった。



事業によって実現できたこと

- 設置場所が小さく、更新前と同じ容量のブロワの設置は難しかった。
- 同風量で小型のブロワの導入により、設置場所を変更することなく更新することができた。
- ブロワ容量を小さくしたことで、電力消費量が削減できた。

建物の階段下の空間に
ブロワを設置した。
更新前ブロワと同じ容量
の高効率モーター搭載ブ
ロワは設置できなかった
が、同風量の小型ブロワ
が設置できた。



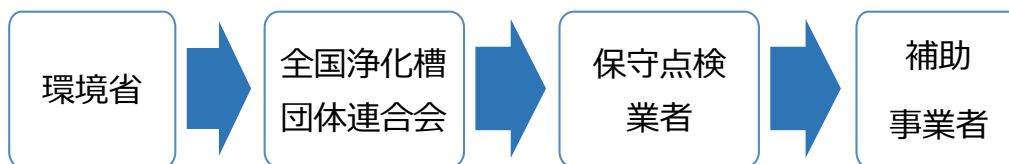
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- 老朽化で異音が発生するなど不具合が発生しており、更新の計画を立てていたところ、補助事業の情報を得た。導入コストとエネルギーコストが軽減されることから応募した。

補助事業を知った経緯

- 浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



情報入手タイミング

補助事業の公募期間
(平成29年6月)

事業を行うにあたり工夫した点

- 設置場所が小さく、更新前と同じ容量のブロワの設置が難しかった。（高効率モーター搭載のものはサイズが大きかった）同風量の小型ブロワの導入を提案があった。

事業者の声

- 小型ブロワ導入後も水質面に問題なく、異音がなくなりました。

平成29年度 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業

同風量の小型ブロワで清流の保全と省エネルギーを実現

事業概要

事業者概要

事業者名 : 社会福祉法人緑愛会
特別養護老人ホームあたご苑
業 種 : 医療, 福祉

事業所

所在地 : 東京都
総延床面積 : -
人槽 : 101~200人槽

補助金額

補助金額 : 約45万円
補助率 : 1/2

主な導入設備

従前設備 : 曝気ブロワ (IE1モーター) 2台
導入設備 : 曝気ブロワ (IE3モーター) 2台

事業期間

稼働日 : 2018年1月

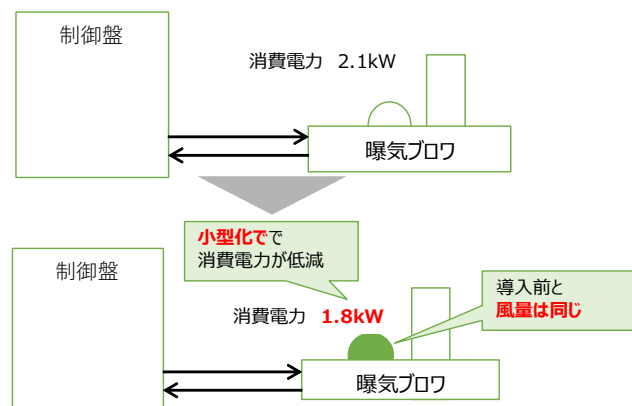
区分

: 改修

特長

: 更新前設備と同風量で小型の設備を導入した。

システム図



写真



電動機を
小型化した
曝気ブロワ

曝気ブロワー

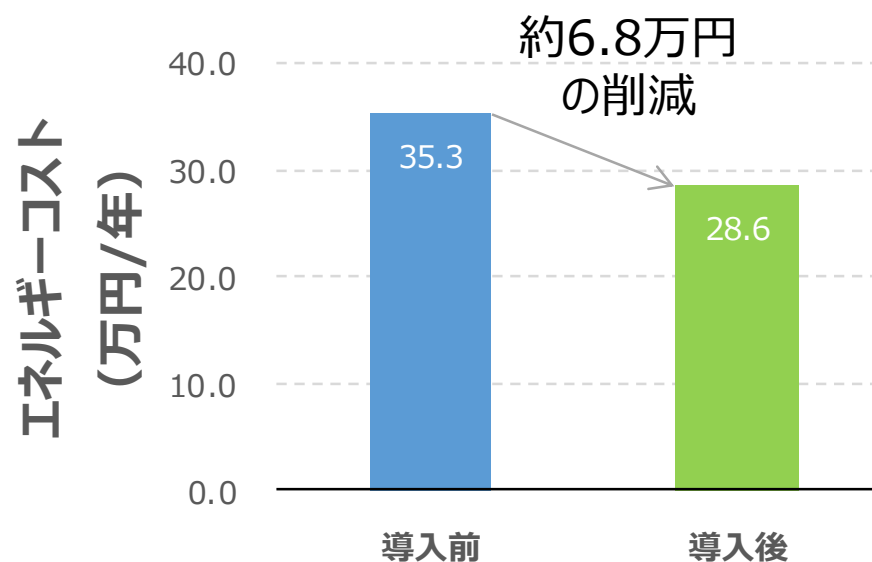
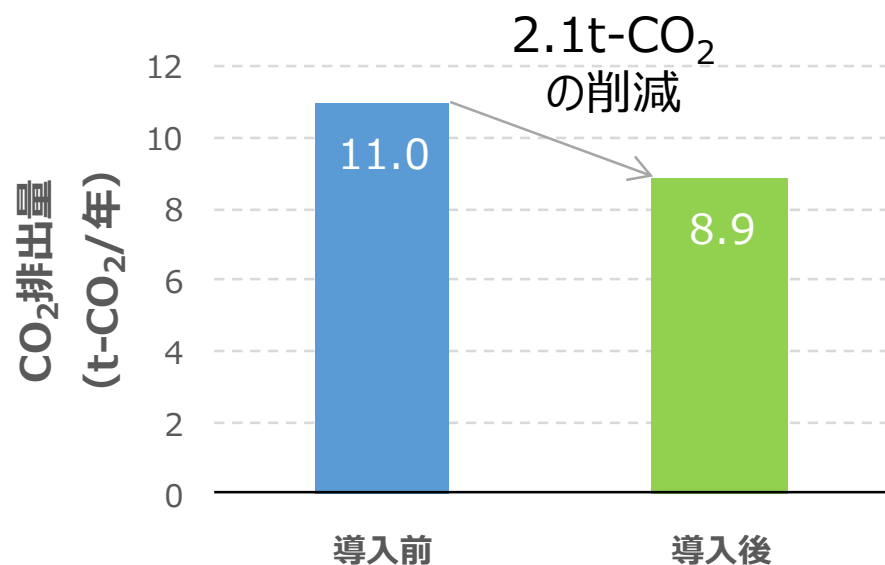
事業の効果

エネルギーコスト削減額：6.8万円/年
投資回収年数(補助あり)：約6.7年
CO₂削減量：2.1t-CO₂/年

投資回収年数(補助なし)：約13.3年
CO₂削減コスト：14,195円/t-CO₂

ブロワ小型化をしない場合のCO₂削減量は、0.7t-CO₂/年で、ブロワ小型化により約7倍の効果が得られた。

補助ありの場合、投資回収年数は約13年で、設備の耐用年数と同程度であった。



事業によって実現できたこと

- ・ブロワ圧縮機本体がエンドレス型という省エネ構造のブロワを導入することで、風量を維持させながらブロワの電動機の容量を小さくした(2.1kW→1.8kW)ことで、電力消費量が削減できた。

風量は維持

	風量(m ³ /分)	電動機出力(kW)
更新前	1.68	2.1
更新後	1.71	1.8

出力を小さくできた



圧縮機がエンドレス型のブロワ

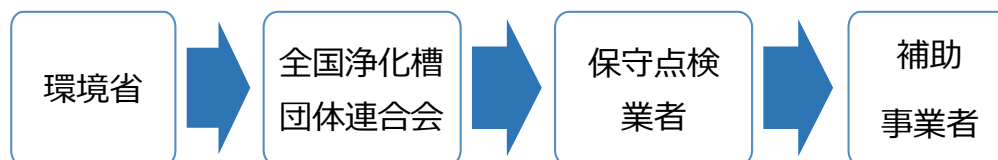
事業を行った経緯及び情報ルート

補助事業を行うことになったきっかけ

- ・老朽化でブロワ能力の低下など、不具合解消を目的に更新の計画を立てていたところ、補助事業の話があり、導入コスト及びエネルギーコストが軽減されることから応募した。

補助事業を知った経緯

- ・浄化槽保守業者の紹介で本補助事業に応募した。



情報入手タイミング

補助事業の公募期間
(平成29年9月)

事業を行うにあたり工夫した点

- ・風量をかえずに電動機の出力を下げ、電気消費量が小さくなった。

事業者の声

- ・浄化槽設置より31年が経っており、約5年ごとにオーバーホールを行いここまで使用できていたが、老朽化のため交換にいたりしました。
- ・放流を行う河川の漁業に影響を与えないよう通常の基準よりも厳しい基準の水質が求められるところ、新ブロワ導入後も水質面に問題ありません。
- ・ファンの音が小さくなり静かになりました。